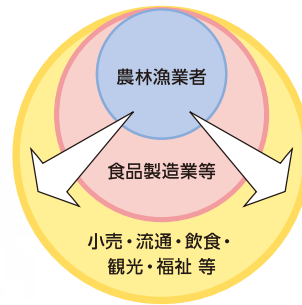


6次産業化は どんな取り組み?

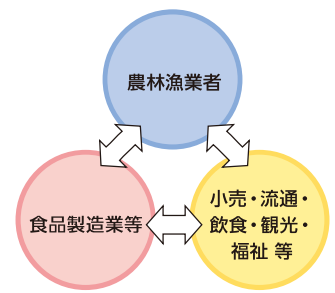
【経営の多角化】

個別経営の発展・農業者の連携



【事業の連携・融合】

一定の地域の中で連携



↓ 地域資源の付加価値向上 ↓

経営体質の強化・農村活性化

Point 1

「6次産業化」には、

- ① 農林漁業者が自ら加工や販売に取り組む「農業経営の多角化」
- ② 農林漁業者と食品メーカー等が互いの経営資源を生かす「異業種連携」という2つの視点があります。

Point 2

「6次産業化」は、「加工」や「販売」だけでなく、「サービス」の提供など多岐に渡ります。

経営資源や地域資源、アイデア、異業種の強みなどを組み合わせることでビジネスの可能性が広がります。

これまでの6次産業化といえば…

- 自ら生産した農林水産物の加工・販売
- 自ら生産した農林水産物を活用した農家レストラン又は農家民宿の運営

これからは「連携・共同」の視点も！

- 自ら生産した農林水産物を首都圏外食・カット事業者の規格に合わせ一次加工し安定供給
- 農林水産物の機能性に着目し素材の開発から加工まで健康食品メーカーと共同で事業化
- 出資・体験・交流をパッケージとした乳牛オーナー制度を旅行者と共同で商品化



ビジネスの発展方向

ビジネスの
醸成



©2015秋田県んだっぢ

各ステップ毎に
支援メニューが
あります

事業 拡大

運転資金を確保したい

販路を拡大したい

施設・設備等を整備したい

事業化

新商品を開発したい

ビジネスの主役となる人材を育成したい

構想 検討

連携先(生産・加工・流通・販売)を探したい

新商品開発や販路拡大等により経営状況を改善したい

プランナーのサポートを受けながら経営改善に取り組みたい

★支援メニュー

支援④を参照

支援①を参照

支援②、③、④を参照

支援①、④を参照

国や県等主催の研修会

県主催の研修会・会議等

「地域プランナーの派遣」を参照